基準日 ： 2024年4月30日
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

ニッポン・オフショア・ファンズ GW セレクト・ファンド＜愛称：ベストナイン＞（安定型クラス A/B、積極型クラス A/B）

安定型クラス A/B

クラス	日興コード	1万口当たり純資産価格	純資産総額
クラスA	0401	9,224	45 億円
クラスB	0402	8,522	16 億円

決算日	毎年3月末日
設定日	2006年4月28日
信託期間	実質無期限
初回分配基準日	2006年9月29日

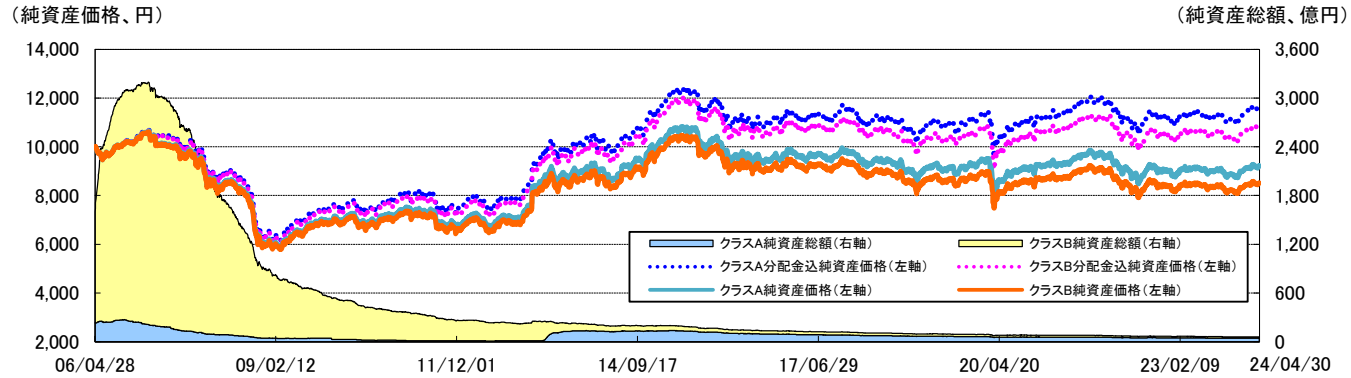
安定型クラス A/B 分配金込み1万口当たり純資産価格の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
クラスA	−0.12%	2.85%	6.07%	1.65%	2.04%	4.50%	16.53%
クラスB	−0.16%	2.73%	5.84%	1.20%	0.71%	2.23%	8.54%

	分配金（累計）1万口当たり
クラスA	2,050 円
クラスB	2,050 円

※過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

安定型クラス A/B 分配金込み1万口当たり純資産価格(税控除前)、純資産総額の推移



※分配金込み1万口当たり純資産価格は、税引前分配金を再投資したものとして計算した値です。

純資産価格騰落率の要因分析（安定型クラスB）

純資産価格の騰落率(1ヵ月)	要因分析	
	現物資産	オーバーレイ
−0.16%	−0.2%	0.4%

(注)要因分析の表には管理報酬等のその他の要因を表していないため、現物資産とオーバーレイの合計が純資産価格の騰落率と一致しません。

（現物資産部分）

日本株式	−0.4%
海外株式	0.1%
エマージング株式	0.1%
世界債券	−0.6%
エマージング債券	0.1%
ハイイールド債券	0.1%
リアルアセット	0.0%
ヘッジファンド	0.1%
DH	0.4%
合計	−0.2%

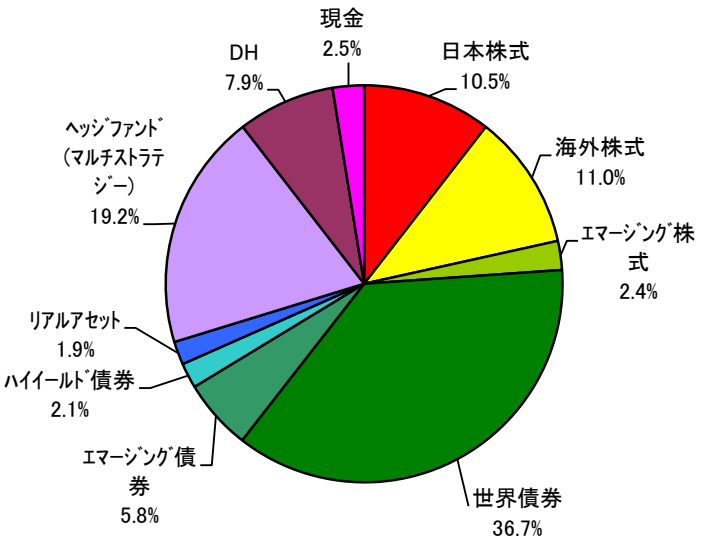
（オーバーレイ部分）

通貨LS	0.0%
株式LS	0.3%
債券LS	−0.1%
資産配分	0.4%
新興国	0.0%
その他要因	−0.2%
合計	0.4%

注）2010年6月16日以降、新興国部分（通貨、株式のみ）を追加しました。

(注1)「DH」とは、野球の「指名打者」に倣い、特に注目度の高いファンドを組入れる資産クラスです。絶対収益型のファンドで過去の実績や運用手法の点で適切と思われるファンドや、または注目に値する投資テーマを有するファンドなどが含まれます。「DH」部分における具体的な組入銘柄は後述（2ページ）の<組入れファンド一覧>をご参照ください。
(注2)要因分析の値は、小数点以下第2位を四捨五入しており、端数処理の影響で、必ずしも各要因を足し合わせても、合計欄の値と一致しないことがあります。

安定型 現物資産配分



為替ヘッジ比率（円資産込み概算） 約 83%

*円グラフには、各ファンドの他、現金及び先物ポジション(世界債券部分)が含まれています。そのため、円グラフの各資産の配分と次頁の組入れファンド一覧の各資産の投資配分との合計とは一致しません。また、上記資産配分の数値は、小数点第二位以下を四捨五入しており、合計値が100%にならないことがあります。

■ 当資料は、運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。■当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、投資対象とする投資信託証券は、主に株式・債券・不動産投資信託（REIT）など値動きのある証券（外貨建て投資信託証券は為替変動リスクもあります。）に投資し、また、株式・債券・通貨のデリバティブ取引（ロング・ショート手法によるオーバーレイ戦略）を行います。このため、株式・債券・REIT等の値動き、為替相場の変動、金利や通貨価値の変動等の影響により純資産価格は上下しますので、元金を割り込むことがあります。■ ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■ お申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

基準日 ： 2024年4月30日
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

ニッポン・オフショア・ファンズ
GW セレクト・ファンド＜愛称：ベストナイン＞
（安定型クラス A/B、積極型クラス A/B）

安定型クラス A/B

安定型 組入ファンド一覧

日本株式	
インベスコ日本株式アドバンテージ・ファンド(インベスコ・マネジメント・エスエー)	10.5%
海外株式	
ウエリントン・US・リサーチ・エクイティ・ファンド(ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー)	8.2%
MFSメリディアン － 欧州リサーチ・ファンド(MFS インベストメント・マネジメント・カンパニー)	2.9%
エマージング株式	
JPモルガン・ファンズ－エマージング・マーケッツ・エクイティ・ファンド(JPモルガン・アセット・マネジメント（UK）リミテッド)	2.4%
世界債券	
ウエリントン・グローバル・ボンド・ファンド(ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー)	20.9%
エマージング債券	
ニューバーガー・バーマン・ブレンド・エマージング債券ファンド(ニューバーガー・バーマン・アセット・マネジメント・アイルランド・リミテッド)	5.8%
ハイイールド債券	
アクサ・ワールド・ファンド－USダイナミック・ハイ・イールド・ボンド(アクサ・インベストメント・マネージャーズUS・インク （米国、グリニッチ))	2.1%
リアルアセット	
プリンシパル・グローバル・プロパティ・セキュリティーズ・ファンド(プリンシパル・グローバル・インベスターズ・エルエルシー)	1.9%
ヘッジファンド（マルチストラテジー）	
JPモルガン・インベストメント・ファンズ-グローバル・マクロ・オポチュニティーズ・ファンド(JPモルガン・アセット・マネジメント（UK）リミテッド)	19.2%
DH	
ニューバーガー・バーマン・グローバル・シニア・フローティング・レート・インカム・ファンド(ニューバーガー・バーマン・ヨーロッパ・リミテッド)	7.9%

（注1）上記比率は、各投資先ファンドの他、現金及び先物ポジション(世界債券部分)の合計値に対する比率です。
（注2）上記の投資先ファンドの他、H2O アダージョ(H2Oアセットマネジメント ヨーロッパ)の保有がありますが、売却手続き等により順次現金化の予定です。

■ 当資料は、運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。■当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、投資対象とする投資信託証券は、主に株式・債券・不動産投資信託（REIT）など値動きのある証券（外貨建て投資信託証券は為替変動リスクもあります。）に投資し、また、株式・債券・通貨のデリバティブ取引（ロング・ショート手法によるオーバーレイ戦略）を行います。このため、株式・債券・REIT等の値動き、為替相場の変動、金利や通貨価値の変動等の影響により純資産価格は上下しますので、元金を割り込むことがあります。■ ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■ お申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

基準日 ： 2024年4月30日
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

ニッポン・オフショア・ファンズ GW セレクト・ファンド＜愛称：ベストナイン＞（安定型クラス A/B、積極型クラス A/B）

積極型クラス A/B

クラス	日興コード	1万口当たり純資産価格	純資産総額
クラスA	0403	13,418	44 億円
クラスB	0404	12,592	13 億円

決算日	毎年3月末日
設定日	2006年4月28日
信託期間	実質無期限
初回分配基準日	2011年3月31日

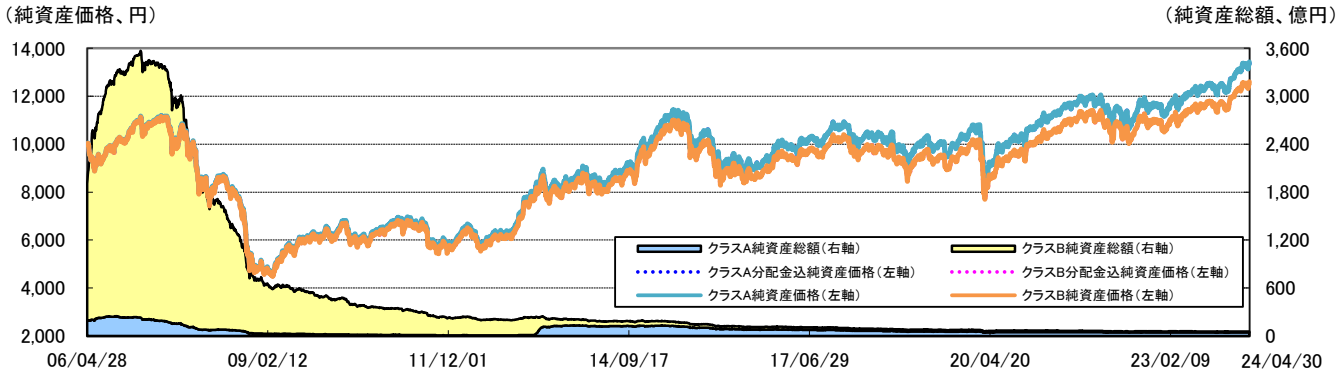
積極型クラス A/B 分配金込み1万口当たり純資産価格の騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
クラスA	0.36%	4.95%	11.39%	11.51%	18.52%	30.08%	34.18%
クラスB	0.33%	4.85%	11.21%	11.13%	18.69%	29.14%	25.92%

	分配金（累計）1万口当たり
クラスA	0 円
クラスB	0 円

※過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

積極型クラス A/B 分配金込み1万口当たり純資産価格(税控除前)、純資産総額の推移



純資産価格騰落率の要因分析（積極型クラスB）

純資産価格の騰落率(1ヵ月)	要因分析	
	現物資産	オーバーレイ
0.33%	0.5%	0.4%

(注)要因分析の表には管理報酬等のその他の要因を表していないため、現物資産とオーバーレイの合計が純資産価格の騰落率と一致しません。

（現物資産部分）

日本株式	−0.6%
海外株式	0.3%
エマージング株式	0.1%
世界債券	−0.1%
エマージング債券	0.3%
ハイイールド債券	0.2%
リアルアセット	0.0%
ヘッジファンド	0.1%
DH	0.4%
合計	0.5%

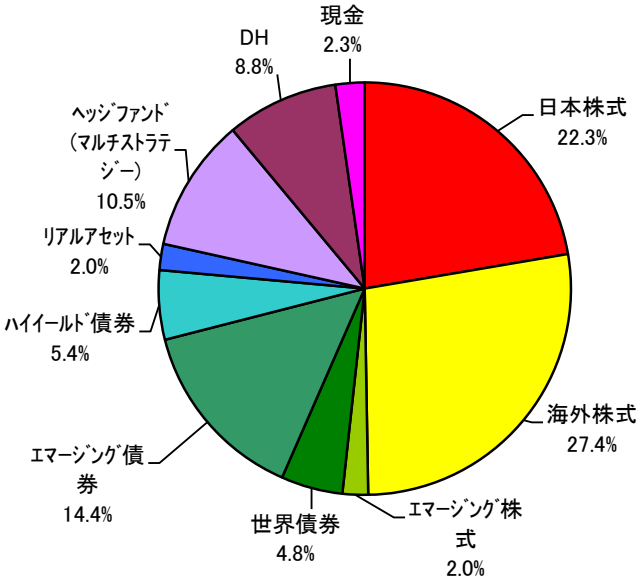
（オーバーレイ部分）

通貨LS	0.0%
株式LS	0.3%
債券LS	0.0%
資産配分	0.3%
新興国	0.0%
その他要因	−0.3%
合計	0.4%

注）2010年6月16日以降、新興国部分（通貨、株式のみ）を追加しました。

(注1)「DH」とは、野球の「指名打者」に倣い、特に注目度の高いファンドを組入れる資産クラスです。絶対収益型のファンドで過去の実績や運用手法の点で適切と思われるファンドや、または注目に値する投資テーマを有するファンドなどが含まれます。「DH」部分における具体的な組入銘柄は後述（4ページ）の<組入れファンド一覧>をご参照ください。
(注2)要因分析の値は、小数点以下第2位を四捨五入しており、端数処理の影響で、必ずしも各要因を足し合わせても、合計欄の値と一致しないことがあります。

積極型 現物資産配分



為替ヘッジ比率（円資産込み概算） 約 55%

*円グラフには、各ファンドの他、現金及び先物ポジション(日本株式・海外株式部分)が含まれています。そのため、円グラフの各資産の配分と次頁の組入れファンド一覧の各資産の投資配分との合計とは一致しません。また、上記資産配分の数値は、小数点第二位以下を四捨五入しており、合計値が100%にならないことがあります。

■ 当資料は、運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。■当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、投資対象とする投資信託証券は、主に株式・債券・不動産投資信託（REIT）など値動きのある証券（外貨建て投資信託証券は為替変動リスクもあります。）に投資し、また、株式・債券・通貨のデリバティブ取引（ロング・ショート手法によるオーバーレイ戦略）を行います。このため、株式・債券・REIT等の値動き、為替相場の変動、金利や通貨価値の変動等の影響により純資産価格は上下しますので、元金を割り込むことがあります。■ ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■ お申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

基準日 ： 2024年4月30日
BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

ニッポン・オフショア・ファンズ
GW セレクト・ファンド＜愛称：ベストナイン＞
（安定型クラス A/B、積極型クラス A/B）

積極型クラス A/B

積極型 組入ファンド一覧

日本株式	
インベスコ日本株式アドバンテージ・ファンド(インベスコ・マネジメント・エスエー)	17.1%
海外株式	
ウエリントン・US・リサーチ・エクイティ・ファンド(ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー)	16.7%
MFSメリディアン － 欧州リサーチ・ファンド(MFS インベストメント・マネジメント・カンパニー)	5.7%
エマージング株式	
JPモルガン・ファンズ－エマージング・マーケッツ・エクイティ・ファンド(JPモルガン・アセット・マネジメント（UK）リミテッド)	2.0%
世界債券	
ウエリントン・グローバル・ボンド・ファンド(ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー)	4.8%
エマージング債券	
ニューバーガー・バーマン・ブレンド・エマージング債券ファンド(ニューバーガー・バーマン・アセット・マネジメント・アイルランド・リミテッド)	14.4%
ハイイールド債券	
アクサ・ワールド・ファンド－USダイナミック・ハイ・イールド・ボンド(アクサ・インベストメント・マネージャーズUS・インク （米国、グリニッチ))	5.4%
リアルアセット	
プリンシパル・グローバル・プロパティ・セキュリティーズ・ファンド(プリンシパル・グローバル・インベスターズ・エルエルシー)	2.0%
ヘッジファンド（マルチストラテジー）	
JPモルガン・インベストメント・ファンズ-グローバル・マクロ・オポチュニティーズ・ファンド(JPモルガン・アセット・マネジメント（UK）リミテッド)	10.4%
DH	
ニューバーガー・バーマン・グローバル・シニア・フローティング・レート・インカム・ファンド(ニューバーガー・バーマン・ヨーロッパ・リミテッド)	8.8%

（注1）上記比率は、各投資先ファンドの他、現金及び先物ポジション(日本株式・海外株式部分)の合計値に対する比率です。
（注2）上記の投資先ファンドの他、H2O アダージョ(H2Oアセットマネジメント ヨーロッパ)の保有がありますが、売却手続き等により順次現金化の予定です。

■ 当資料は、運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。■当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、投資対象とする投資信託証券は、主に株式・債券・不動産投資信託（REIT）など値動きのある証券（外貨建て投資信託証券は為替変動リスクもあります。）に投資し、また、株式・債券・通貨のデリバティブ取引（ロング・ショート手法によるオーバーレイ戦略）を行います。このため、株式・債券・REIT等の値動き、為替相場の変動、金利や通貨価値の変動等の影響により純資産価格は上下しますので、元金を割り込むことがあります。■ ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■ お申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

ニッポン・オフショア・ファンズ
GW セレクト・ファンド＜愛称：ベストナイン＞
（安定型クラス A/B、積極型クラス A/B）

安定型クラス A/B、積極型クラス A/B コメント

【日本株式】

当月の日本株式の動向は、日経平均株価の月間の騰落率が-4.86%、TOPIX（東証株価指数）が-0.92%となりました。日本株式市場は、月初に機関投資家による益出し売りの動きにより下落した後、月の半ばまでは概ね横ばいで推移しました。月後半に入ると世界的な半導体株の下落や中東情勢の緊迫化などから下落しましたが、その後は中東情勢への警戒感が和らぐと買い戻しの動きが広がり、上昇しました。

【海外株式/エマージング株式】

海外株式市場は下落しました。米国株式市場は、月の中旬までは、物価関連指標の上振れや金融当局者のタカ派的発言を受けた金利上昇などを受けて下落しました。その後、中東情勢の警戒感が和らいだことや企業業績への期待感から買い戻しの動きが広がり、下げ幅を縮めました。欧州株式市場は、月の中旬までは米国金利上昇の影響や中東地域の地政学リスクの高まりから下落しましたが、その後は好調な企業業績などに支えられ買い戻しの動きが見られました。エマージング株式市場は、月の上旬はインド株が史上最高値を更新するなど上昇する国もありましたが、中旬は中東情勢への不安などから多くの国で下落しました。その後、中東情勢への過度な懸念が和らぎ上昇に転じました。

【世界債券/エマージング債券/ハイイールド債券】

世界債券市場は下落しました。米国債市場は、3月の米消費者物価指数（CPI）が予想を上回ったことを受けて米連邦準備理事会（FRB）要人が利下げの先送りを示唆したことなどから、米10年国債利回りは上昇基調で推移しました。欧州国債市場においても、サービスセクターが先導する形で景気回復が進んでおり、米国金利上昇の影響もあって利回りが上昇しました。ハイイールド債券市場は、FRBが利下げに慎重な姿勢を示したことから下落しました。また、米国株式市場が下落したことも信用スプレッドの拡大につながりました。エマージング債券市場は、FRBによる利下げ期待が後退したことを背景に米ドル建て、現地通貨建ては共に下落しました。

【リアルアセット】

グローバルREIT市場は下落しました。北米REIT市場では、3月の米CPIが予想を上回って利下げ観測が後退したことなどから、月を通して軟調に推移しました。J-REIT市場は、米国金利の上昇に連れて日本の長期金利が上昇したものの、日銀が緩和的な金融政策を当面維持する姿勢を示したことから小幅の上昇となりました。

【ヘッジファンド（マルチストラテジー）】

ヘッジファンドは下落しました。戦略別では合併アービトラージ戦略（買収・合併が成立することを見込んで、関連する企業の株式の裁定取引を行う戦略） や、転換社債アービトラージ戦略（転換社債を用いた裁定取引を行う戦略）などが下落しました。なお、当月、投資ファンドは僅かに上昇しました。

【DH】

当資産クラスは絶対収益型のファンドで過去の実績や運用手法の点で優良と思われるファンド、または注目に値する投資テーマを有するファンドなどに投資を行っており、当月末時点ではバンクローンファンドを保有しています。当月、「DH」は、バンクローン市場が前月末比で上昇したためプラスとなりました。

【オーバーレイ】

オーバーレイは、当月はプラスとなりました。戦略別では、株式ロングショート戦略におけるフランスやドイツのショート、資産配分戦略における株式のショートなどがプラス寄与となりました。

（ご参考）2024年4月～2024年6月の四半期計算期間の期初時点のハイウォーター・マークは以下の通りとなります。

2024年4月2日時点のハイウォーター・マーク
安定型（クラスA）9,731.471円　安定型（クラスB）9,369.914円
積極型（クラスA）13,370.293円　積極型（クラスB）12,550.793円

■ 当資料は、運用状況に関する情報提供を目的としてBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が作成したものです。■ 当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■ ファンドは、主に投資信託証券に投資を行い、投資対象とする投資信託証券は、主に株式・債券・不動産投資信託（REIT）など値動きのある証券（外貨建て投資信託証券は為替変動リスクもあります。）に投資し、また、株式・債券・通貨のデリバティブ取引（ロング・ショート手法によるオーバーレイ戦略）を行います。このため、株式・債券・REIT等の値動き、為替相場の変動、金利や通貨価値の変動等の影響により純資産価格は上下しますので、元金を割り込むことがあります。■ ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。■ お申込にあたっては、販売会社より投資信託説明書をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

ニッポン・オフショア・ファンズ
GW セレクト・ファンド＜愛称：ベストナイン＞
（安定型クラス A/B、積極型クラス A/B）

■ ファンドに係るリスクについて

ファンドは、外貨建の株式、公社債、不動産投資信託およびデリバティブ商品等を投資対象としています。ファンドの受益証券１口当たり純資産価格は、ファンドに組入れられた株式、公社債、不動産投資信託およびデリバティブ商品等の値動き、為替相場の変動、金利や通貨価値の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、株式や公社債は発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により値動きするため、ファンドの受益証券１口当たり純資産価格も変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、受益証券１口当たり純資産価格の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これらの運用および為替相場の変動による損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。また、ファンドの買戻し（途中換金）が可能な日は限定されており、原則として週次でのご換金となります。

投資者は受益証券の価格は上昇する場合もあれば下落する場合もあることを認識しておく必要があります。ファンドへの投資には大きなリスクが伴います。投資運用会社はファンドの投資目的と投資制限の制約の範囲内で潜在的損失を最小限に抑えるために組み立てられた戦略を実行する予定ですが、こうした戦略が実行できること、また実行できたとしても成功を収めることは保証できません。投資者はファンドに対する投資のすべてまたは大部分を失う可能性があります。リスク要因に関する以下の記述はファンドへの投資に伴うリスクをすべて説明することを意図したものではありません。

主なリスク要因

【ポートフォリオ管理のリスク】
投資運用会社および／またはその委託先は、効率的なポートフォリオ管理のためにデリバティブを利用して、ファンドに代わって様々なポートフォリオ戦略を取ることができます。投資運用会社は、ファンドの投資戦略を実行するにあたり、その裁量において、様々なデリバティブ取引（先物、オプション、スワップ、スワップションを含みますが、これらに限られません。）において適切なポジションを持つことができます。

【新興国市場のリスク】
ファンドは直接的または間接的に新興国市場の企業の株式に投資することができます。このような株式には大きなリスクが伴い、投機的とみなすべきです。こうしたリスクには（a）接収、没収課税、国有化および社会、経済、政治不安のリスクが大きいこと、（b）現時点において新興国市場の発行体の証券市場の規模が小さく、取引が少なく、または取引がないため、流動性に欠け、価格変動性が大きいこと、（c）国の政策により、国益に影響すると思われる発行体または業種への投資制限など、投資機会が制限される場合があること、および（d）民間投資、外国投資および私有財産に適用される法的枠組みが十分に発達していないことなどがあります。

【信用リスク】
ファンドは直接的または間接的に格付の低い債券に投資することができます。格付の低い債券とは、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクの格付がBaa未満、Ｓ＆Ｐグローバル・レーティングの格付がBBB未満の債券をいいます。ファンドが保有する債券の格付が低ければ低いほど、発行体の財務状況もしくは経済状況もしくはその両方が悪化し、または金利が予想外に上昇した場合、元本と利息を支払う発行体の能力が損なわれる可能性が高くなります。こうした債券には大きなデフォルト・リスクが伴い、投資対象の資産価値に影響を及ぼすことがあります。

【不動産証券への投資リスク】
ファンドは直接的または間接的に証券取引所に上場されている不動産証券（北米のREIT（不動産投資信託）、オーストラリアのLPT（上場不動産投資信託）およびヨーロッパとアジアの不動産証券会社とREIT型投資対象を組み合わせた商品を含みます。）に投資することができます。不動産市場に影響する要因の多くがこうした証券にも影響を及ぼします。このような要因には、対象となる不動産の質、所在地、（事務所、ショッピングセンター、工業用などの）ある種の不動産の需給要因、所有する不動産の賃貸特性、賃貸収入の水準などを含みます。

【派生商品の空売りリスク】
投資運用会社および／またはその委託先はファンドの勘定で先物契約、店頭為替先渡契約およびオプションの空売りを行うことができます。空売りによってファンドは更なるリスクにさらされることがあります。

【先物への投資リスク】
先物の価格は変動性が大きく、先物やオプション取引に必要な証拠金は通常、少額であるため、先物取引勘定には極めて大きなレバレッジがかかっています。その結果として、先物の小さな値動きによって投資者が大きな損失を被ることがあります。先物取引の結果、当該取引の投資額を超える損失を被る可能性があります。

【流動性リスク】
比較的流動性が低い有価証券の市場は流動性が高い有価証券の市場に比べて変動性が大きい傾向があります。比較的流動性が低い有価証券にファンドの資産を投資した場合、投資運用会社は希望する価格で、希望する時にファンドの投資対象を処分できないことがあります。

【為替リスク】
為替取引を実行する市場は変動性が大きく、極めて専門的です。こうした市場では流動性や価格の変動などの重大な変化が極めて短期間に、しばしば数分の間に発生します。為替取引のリスクには、為替レートのリスク、金利のリスク、現地の為替市場、外国投資または特定の外貨取引の規制を通じて外国政府が介入する可能性などを含みますが、上記に限定されません。投資運用会社はこうした為替リスクをヘッジするために為替先渡契約、オプション、先物およびスワップなどの金融商品を利用することができます。ヘッジ戦略に使用する金融商品の値動きとヘッジするポートフォリオのポジションの値動きとの相関性の度合いは変化することがあります。投資運用会社はヘッジ戦略に使用する金融商品とヘッジするポートフォリオの保有資産との間に完全な相関性の確立を求めることはできません。こうした不完全な相関性によりファンドは意図するヘッジを達成することができないか、または、損失のリスクにさらされる可能性があります。

【派生商品リスク】
派生商品では取引を実行する際に支払い、または預託する金銭に比べて市場のエクスポージャーが極めて大きい場合が多いため、比較的小さな値動きによって投資した全額を失うばかりでなく、ファンドが当該取引の当初の投資金額を上回る損失を被る危険性があります。

【レバレッジリスク】
投資運用会社および／またはその委託先はファンドに代わって、投資に利用する資金の額を増やすために、証券会社、銀行およびその他の金融機関から資金を借り入れることができます。

【決済リスク】
ファンドは投資運用会社および／またはその委託先がファンドのために取引を行う相手方当事者の信用リスクにさらされるほか、決済不履行のリスクを負います。決済の問題はファンドの純資産価格および流動性に影響を及ぼします。

【金利リスク】
金利の変動は、発行体のファンダメンタルズに対する見通しおよびその他の投資者の意思決定に影響するため、ファンドが投資した債務証券の価値に影響を及ぼします。更に、金利の変動は投資運用会社および／またはその委託先がファンドの勘定で売買する派生商品の価値および価格設定にも影響を与えます。

【為替先渡契約および為替取引リスク】
投資運用会社および／またはその委託先はファンドの勘定で、ヘッジまたは投機の目的で、様々な国の通貨と国際的通貨との間で店頭為替先渡契約および通貨または為替先渡契約のオプションを取引することができます。

ニッポン・オフショア・ファンズ
GW セレクト・ファンド＜愛称：ベストナイン＞
（安定型クラス A/B、積極型クラス A/B）

その他
■ ファンドの換金には制限を設けており、原則として週次（原則、木曜日）でのご換金となります。
■ 安定型ファンドについては、年2回、3月及び9月の最終ファンド営業日を基準日として、積極型ファンドについては、5年毎の3月最終ファンド営業日を基準日として分配を行なう予定ですが、1口当たり純資産価格の水準を勘案し、分配が行なわれないこともあります。
■その他の留意事項
当資料はBNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社が投資家の皆様にファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。当資料は、信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料に掲載されている数値・図表等は特に断りのない限り当資料作成日現在で入手可能なものに基づいております。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益の獲得を示唆ないし保証するものではありません。

投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

※投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。ファンドをお申込の際には、販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しします ので、必ず詳細をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。

主な手数料情報
◆お申込手数料
お申込価格に、お申込口数、手数料率を乗じて得た額です。
手数料率はお申込口数に応じて下記のとおりです。
【クラスA】

お申込口数	お申込手数料
1億口以上10億口未満	1.65%（税抜1.500%）
10億口以上 20億口未満	0.55%（税抜0.500%）
20億口以上	なし

※ 別に定める場合はこの限りではありません。
【クラスB】
お申込時点では、ありませんが、ご換金（買戻）時に、買戻手数料がかかります。ただし、管理会社から日本における販売会社に対してご購入金額の4.00%が支払われます。

◆ ご換金（買戻し）手数料
【クラスA】ありません。
【クラスB】ご購入後の保有期間が7年未満の場合は、保有期間に応じて、当初ご購入価格の4%～0.20%（日本の消費税および地方消費税はかかりません。）の条件付後払申込手数料（Contingent Deferred Sales Charge。略称CDSC。）が徴収されます。詳しくは交付目論見書本文をご参照下さい。

◆ 管理報酬等
日々の純資産総額に対して、年率1.690%(注1)（クラスA）または2.130%(注1)（クラスB） を乗じた額ならびに下記の受託報酬およびその他費用等がファンド資産より控除されます。また、実績報酬が課されることがあります。

	【クラスA】（年率）	【クラスB】（年率）
管理報酬（投資運用報酬等を含みます。）	0.890%～0.625%(注1)	0.890%～0.625%(注1)
代行協会員報酬	0.100%	0.100%
販売報酬	0.600%～0.865%	0.400%～0.665%
販売管理報酬	―	0.640%
管理事務代行報酬	0.060%	0.060%
保管報酬	0.040%	0.040%
上記合計	1.690%(注1)	2.130%(注1)
実績報酬	日々の1口当たり総純資産価格がハイウォーター・マークを上回った場合、超過額に対して20%。	
受託報酬	純資産価額に対して年率0.01%（ただし最大年間報酬額は7,500米ドル）	

※その他費用等（取引手数料、目論見書等の作成・印刷費用、弁護士費用、監査費用、税金等を含みますが、これらに限られません。）は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率もしくは上限額等を示すことができません。
※ファンドは、組入投資信託の資産から支払われることがあるすべての報酬および費用（組入投資信託の管理会社・投資顧問会社報酬等を含みます。）（上限年率1.5%(注2)）を間接的に負担します。この他にも投資先ファンドには比率に割り戻すことができない報酬・費用等が課されているものがあります。（なお、各組入投資信託がさらに投資するファンドにおいても管理報酬が発生します。しかし、これら投資先ファンドは、これら管理報酬等について開示しておりません。このため、その管理報酬等を事前に計算することができませんので、その額や計算方法を記載しておりません。）
（注1）管理会社と日興アセットマネジメント株式会社との間で締結されていたファンドのサービス支援契約終了に伴い、2023年9月30日付で、管理報酬が上記のとおり引き下げとなりました。
（注2）上限年率は2023年10月末日現在の情報に基づくものです。
※上記手数料等の合計額については、ご投資者の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「手続・手数料等」をご覧ください。

ファンドの主な関係法人
■ 管理会社： BNYメロン・インターナショナル・マネジメント・リミテッド
■ 投資運用会社： BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社
■ 副投資運用会社： ニュートン・インベストメント・マネジメント・ノースアメリカ・エルエルシー
■ 投資助言会社： 日興グローバルラップ株式会社
■ 受託会社： ファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド
■ 管理事務代行会社および保管会社： SMBC日興ルクセンブルク銀行株式会社
■ 販売会社および代行協会員： SMBC日興証券株式会社
登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号
加入協会 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

（注）管理会社の委託に基づき日本における販売会社に対してサービス支援業務を提供するために、日興アセットマネジメント株式会社との間で締結されていたサービス支援契約は、2023年9月29日付で終了しています。